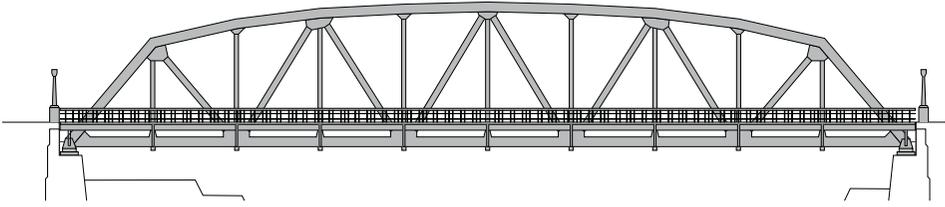
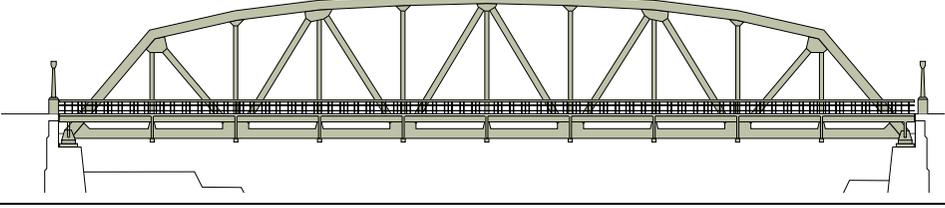
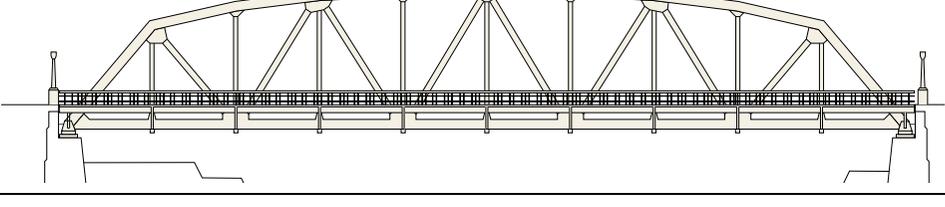
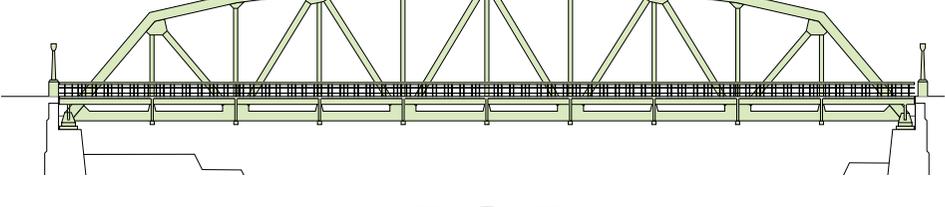
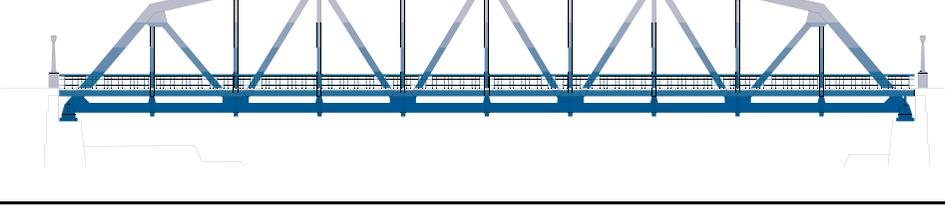


年代	色彩	参考スケッチ	決定経緯など
初期	<p>ネズミ色 詳細は不明</p> <p>参考として「素鼠色」にて表現</p>		不明
1966 昭和41年) ~ 1975 昭和50年 (9年間)	<p>薄いカーキ色 (詳細は不明)</p>		不明
1975 昭和50年 ~ 1984 昭和59年 (9年間)	<p>白系クリーム色</p>		不明
1984 昭和59年 ~ 1993 平成5年) (9年間)	<p>黄緑色 (5GY9/4)</p> <p>森の都・金沢を象徴 白、クリーム、茶系の 周辺建物を引き立てる。 雪の中でアクセントカラーに。</p>		<p>市民の声と専門家の助言を組み合わせた考え方にて検討を実施しました。アンケート応募者53人中、大半は明るいクリーム系(当時の現況)を希望したこともあり、森の緑と周辺環境との調和をイメージし、浅萌黄(あさもえぎ)系の明るく柔らかな黄緑を採用しました。</p>
1993 平成5年) ~ 2008 平成20年) (14年間)	<p>青色グラデーション 上から) 10B7.5/1 10B6.5/2.5 10B5.5/4 10B4.5/6 10B3.5/8</p>		<p>加賀友禅のぼかし技法をイメージし、なまこ壁の群青色を使ってアレンジした色調としました。部材の多いトラス橋上において圧迫感を与えるので、上方を薄くすることにより、トラスの重たさのある程度解消する意図があります。</p>